

これからの幼稚園施設の在り方 (報告書イメージ)

第 1 章 幼稚園施設整備指針改訂の背景

- ・ 少子化、待機児童、幼稚園として求められる役割の変化等
- ・ 施設整備指針も、教育現場における創意工夫の取組等を踏まえつつ見直しを図ることが必要
- ・ 今般、幼稚園施設要領が改訂されたことを契機に改訂に着手

学習指導要領及び幼稚園教育要領は、時代の変化や子供たちの状況、社会の要請等を踏まえ、これまでおおよそ 10 年ごとに改訂してきた。今回の改訂は、次の基本方針に基づき行われたところ。

- ・ 子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力の一層確実な育成と、子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」の重視
- ・ 知識の理解の質を更に高めた確かな学力の育成
- ・ 道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実による豊かな心や健やかな体の育成

上記の基本方針を踏まえ、幼稚園教育の特性を考慮して、幼稚園教育要領においても必要な改訂を行った。改訂のポイントは以下の通りである。

(1) 新幼稚園教育要領のポイント

○ 前文

- ・ 社会に開かれた教育課程の実現
- ・ 一人一人の資質・能力を育てていくこと
- ・ 小学校以降の教育や生涯にわたる学習とのつながりを見通すこと

○ 第 1 章 総則

- ・ 「環境を通して行う教育」を基本とすることは変わらない
- ・ 幼稚園教育において育みたい資質・能力（知識及び技能の基礎、思考力・判断力・表現力等の基礎、学びに向かう力・人間性等）を明確化
- ・ 5 歳児修了時まで育ててほしい具体的な姿を「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿（健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現）」として明確化するとともに、小学校と共有することにより幼少接続を推進
- ・ 幼児一人一人のよさや可能性を把握するなど幼児理解に基づいた評価を実施

- ・ 言語活動などの充実を図るとともに、障害のある幼児や海外から帰国した幼児など特別な配慮を必要とする幼児への指導を充実

○ 第2章 ねらい及び内容（充実した部分の要旨）

<領域 健康>

- ・ 見通しをもって行動する
- ・ 食べ物への興味や関心をもつ
- ・ 多様な動きを経験する中で、体の動きを調整するようにする
- ・ 食の大切さに気付き、進んで食べようとする気持ちが育つようにする
- ・ 安全についての構えを身につけ、理解を深めるようにする
- ・ 避難訓練などを通して、災害などの緊急時に適切な行動がとれるようにする

<領域 人間関係>

- ・ 工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わう
- ・ 諦めずにやり遂げることの達成感や、前向きな見通しをもって充実感を味わうことができるよう、適切な援助を行うようにする
- ・ 自分のよさや特徴に気付き、自信をもって行動できるようにする

<領域 環境>

- ・ 日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ
- ・ 自分なりに比べたり、関連づけたりしながら工夫して遊ぶ
- ・ 自分の考えをよりよいものにしようとする気持ちが育つようにする
- ・ 文化や伝統に親しむ際には、正月や節句など我が国の伝統的な行事、国歌、唱歌、わらべうたや我が国の伝統的な遊びに親しんだり、異なる文化に触れる活動に親しんだりすることを通じて、社会とのつながりの意識や国際理解の意識の芽生えなどが養われるようにする

<領域 言葉>

- ・ 言葉に対する感覚を豊かにし、先生や友達と心を通わせる
- ・ 幼児が生活の中で、言葉の響きやリズム、新しい言葉や表現などに触れ、これらを使う楽しさを味わえるようにすること。その際、絵本や物語に親しんだり、言葉遊びなどをしたりすることを通して、言葉が豊かになるようにすること

<領域 表現>

- ・ 風の音や雨の音、身近にある草や花の形や色など自然の中にある音、形、色などに気付くようにする
- ・ 様々な素材や表現の仕方に親しんだり他の幼児の表現に触れられるよう配慮したりし、表現する過程を大切にして自己表現を楽しめるように工夫すること

○ 第3章 教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項

教育課程外の教育活動と子育ての支援

- ・ 社会と教育課程のつながりを大切にする「社会に開かれた教育課程」としての役割は、預かり保育や子育ての支援を通じて、施設や機能を開放してきた幼稚園では、これまでも担われてきたものである。近年の社会環境の急速な変化に対応し、今後も、幼稚園における教育課程が「社会に開かれた教育課程」としての役割を更に果たしていくことが必要。
- ・ 幼稚園生活全体を通じて幼児の発達を把握し、幼稚園生活を更に充実する観点から、預かり保育について、教育課程に係る教育時間を含めた全体の中で計画、実施する必要があることや地域の人々との連携などチームとして取り組むこと。
- ・ 幼稚園が地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を一層果たしていく観点から、子育ての支援について、心理士、小児保健の専門家、幼児教育アドバイザーなどの活用や地域の保護者と連携・協働しながら取り組むようにすること

(2) 今後の学校施設の在り方に関する方向性

幼稚園施設整備指針改訂の検討に先立ち、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の学習指導要領等の改訂を踏まえ、共通して着目すべきポイントを以下のとおりとりまとめた。

1) 学習指導要領等への対応

①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習環境の整備

- ・ 多目的スペースや ICT 教育に対応したスペースの充実など、能動的（アクティブ）に学べる学習環境の整備
- ・ 教室と図書室との近接による深い学び学習への対応
- ・ 外国語教育を効果的に実施するための空間の確保
- ・ 学校間、異学年間の連携・交流を促す環境の整備

②「チームとしての学校」の実現に向けた施設環境の整備

- ・ 教員が子供と向き合う時間的・精神的な余裕を確保できるような快適で機能的なワークスペースに転換
- ・ 教職員間の協働、外部専門家・地域住民等との連携、情報管理等の観点から、機能連携・分化を考慮した管理諸室の整備

③インクルーシブ教育システムの構築に向けた施設環境の整備

- ・ 障害者差別解消法が求める合理的な配慮への対応
- ・ 各校種ごとに求められるバリアフリー化の更なる推進

④ ICT を活用できる施設環境の整備

- ・ 無線 LAN など、空間の制約を超えて活用できる特性を發揮できるような施設環境の整備
- ・ 従来の教室空間とは異なる、ICT に適した室内環境（照明、内装、家具、電源等）の整備

2) 学校施設の諸課題への対応

① 教育面や安全面、機能面を改善する老朽化対策の推進

- ・ 安全性を確保する観点からの老朽化対策の推進
- ・ 空調、トイレ整備など、劣悪な施設環境の解消による健康的な施設環境の確保
- ・ 音、温熱環境など、室内の基本性能の確保
- ・ 定期的な点検の実施、計画的な維持管理の実施

※資料に記載している事項は、現在確認中あるいは調整中の事項が含まれており、今後、修正等を行う可能性があります。

② 環境に配慮した学校施設の整備

- ・ 省エネルギー、省 CO₂ など、エコスクールの更なる推進
- ・ 良好な学習環境を確保するための施設計画上の配慮（南側教室の見直し、採光上の工夫等）

③ 避難所としての防災機能の強化

- ・ 児童生徒に加え、地域住民の避難所として求められる防災機能の確保
- ・ 各校種ごとに求められる防災機能強化の更なる推進

④ 少子高齢化に対応した学校施設の整備

- ・ 地域の拠点施設としての複合的な整備
- ・ 地域ストックの有効活用の観点から、他の公共施設との共用化、相互利用の推進
- ・ まちづくりの視点から、数十年単位での地域の施設ニーズを見据えた学校施設の整備

3) 20、30年先の未来を見据えた学校施設の整備

- ・ 学校は、地域の誰もが学び、活用する場であるという視点に立ち、ユニバーサルデザインの採用をはじめ、人に優しい施設として整備していくことが極めて重要
- ・ 子供たちが未来を切り拓くために必要な資質・能力（コミュニケーション、批判的思考、協力、独創性等）を身に付けていけるよう、効果的な活動が展開できる学習環境の計画が必要
- ・ これからの学校施設には、ICT 活用や「主体的・対話的で深い学び」をはじめ、新たな学びに柔軟に対応できるよう、フレキシブルな施設利用を可能とする計画が必要
- ・ 教育効果を高めるためには、機能面での充実だけでなく、「学び心地」「教え心地」といった面での満足度を高めるアプローチも必要
- ・ 少子高齢化の進行の中、地域の拠点である学校施設を他の施設と複合して整備することにより、地域の連携・協働活動の拠点として位置付けるといった視点も有効

第2章 幼稚園施設整備指針改訂事項の検討

(1) 幼稚園施設整備指針における対象施設

幼稚園施設部会における認定こども園の扱いについては、平成22年2月改訂の検討時に「本部会では、認定こども園について、参考にしたり関連として取り上げることにはあるが、あくまでも議論すべきは幼稚園であると整理する」ことが示された。

このことを踏まえ、各改訂において、幼稚園における「預かり保育」「子育て支援」における乳児を対象とした施設面の留意事項等を追記してきたところである。

今回の改訂においても、従前の整理を踏襲しつつ、施設の用途として「幼稚園」が含まれる、

- ・ 幼稚園
- ・ 幼保連携型認定こども園
- ・ 幼稚園型認定こども園

について、

- ・ それぞれの設置者が「分かり易く」「誤解を生じない」書き分けができていないか
- ・ 常時、「乳児」が在籍することを前提とした際に、特に玄関やホールなどの共用空間等において、必要な留意事項として追記すべきものはないか

等についても、改めて確認を行うこととした。

「認定こども園」とは

教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。
以下の機能を備え、認可・認定の基準を満たす施設は、都道府県等から認可・認定を受けることができます。

- ①就学前の子供を、保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れて、教育及び保育を一体的に行う機能
- ②子育て相談や親子の集いの場の提供等地域における子育て支援の機能

認定こども園の類型

幼保連携型

幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能を併せ持つ単一の施設として、認定こども園の機能を果たすタイプ。

幼稚園型

幼稚園が、保育を必要とする子供のための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備えて認定こども園の機能を果たすタイプ

保育所型

認可保育所が、保育を必要とする子供以外の子供も受け入れるなど、幼稚園的な機能を備えることで認定こども園の機能を果たすタイプ

地方裁量型

認可保育所以外の保育機能施設等が、保育を必要とする子供以外の子供も受け入れるなど、幼稚園的な機能を備えることで認定こども園の機能を果たすタイプ

※資料に記載している事項は、現在確認中あるいは調整中の事項が含まれており、今後、修正等を行う可能性があります。

(2) 現地調査計画

検討に先立ち、幼稚園施設における現状の課題把握、及び好事例の収集等を行うため、各委員からの推薦のもと、設置主体や施設規模等にも配慮しつつ、以下の12園の現地調査を実施することとした（現地調査の概要は巻末の参考資料参照）。

現地調査先一覧

整理番号	施設名	分類		所在地
1	美晴幼稚園	私立	幼稚園	北海道札幌市
2	恵庭幼稚園	私立	幼稚園	北海道恵庭市
3	国立大学法人お茶の水女子大学附属幼稚園	国立	幼稚園	東京都文京区
4	中央区立豊海幼稚園	公立	幼稚園	東京都中央区
5	港北幼稚園	私立	幼稚園	神奈川県横浜市
6	ゆうゆうのもり幼保園	私立	幼保連携型認定こども園	神奈川県横浜市
7	せんりひじり幼稚園	私立	幼保連携型認定こども園	大阪府豊中市
8	あけぼの幼稚園	私立	幼稚園型認定こども園	大阪府豊中市
9	認定こども園 Kids まゆみ	私立	幼保連携型認定こども園	大阪府和泉市
10	はまようちえん	私立	幼稚園	兵庫県尼崎市
11	認定こども園さざなみの森	私立	幼保連携型認定こども園	広島県東広島市
12	国立大学法人福岡教育大学附属幼稚園	国立	幼稚園	福岡県宗像市

(3) 今後の幼稚園施設整備における着眼点

幼稚園施設整備指針改訂の背景や現地調査を通じて、今後の幼稚園施設整備における着眼点を以下のとおり整理した。

- (1) 幼児自身の興味や関心に応じて様々な活動が展開されるようにするための屋内環境の在り方
- (2) 幼児の主体的な活動を促すための屋外環境の在り方（園庭等（半屋外空間を含む））
- (3) 障害のある幼児など特別な配慮を必要とする幼児に対応した施設の在り方
- (4) 教育活動を支えるための職員スペースの在り方（職員室等）
- (5) 家庭や地域等との連携・協働を促す施設整備の在り方
- (6) 「遊びを引き出す」ための安全性の考え方
- (7) 将来の変化に対応する施設整備の在り方

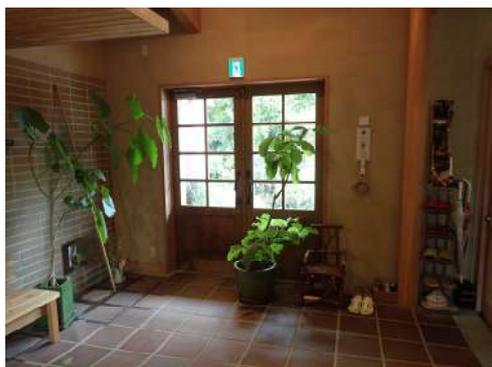
(1) 幼児自身の興味や関心に応じて様々な活動が展開されるようにするための屋内環境の在り方

- ・ 子供が自発的に遊びを創造できるよう、大人が遊びの材料をすべて提供してしまわないようなバランス感覚が重要。
- ・ ワークスペースや机の配置・備品等を出し入れする際の工夫などの視点も重要。



多様なコーナーを設置し、自発的な遊びを誘導。

【お茶の水女子大学附属幼稚園（東京都文京区）】



玄関部分を改修して「たまり」の場を創出。
送迎時の保護者滞留スペースとしても活用。

【認定こども園さざなみの森（広島県広島市）】

※資料に記載している事項は、現在確認中あるいは調整中の事項が含まれており、今後、修正等を行う可能性があります。



園舎内においても「屈む、這う、伸ばす、転がる、揺する」など、多様な運動が自然とできる構造となっている。

園内空間を立体的につなぐ仕掛けを縦横に設置し、園舎全体が有機的な遊具となるデザインとなっている。

【ゆうゆうのもり幼保園(神奈川県横浜市)】



ホールの段差部分が幼児用の座席になっており、椅子の出し入れにかかる苦勞が無くなったとのこと
また、床板を外すと大人用椅子の収納場所にもなっており、保護者会や入園式などの際に素早く設置が可能となっている。

【認定こども園 Kids まゆみ(大阪府和泉市)】



多目的室(奥)と遊戯室(手前)は用途に応じてネットで分割が可能。

多目的室のステージは緞帳の裏にスクリーンを設置し、多様な使い方を可能にしている。踏み台もステージと高さを合わせることで、ステージを拡張することもできる。

【豊海幼稚園(東京都中央区)】



オープンキッチンシステムにより幼児が調理室の中を見ることが可能。

建具を開放するとオープンテラスとなり、テラスで食事も可能となる。

【認定こども園 Kids まゆみ(大阪府和泉市)】

※資料に記載している事項は、現在確認中あるいは調整中の事項が含まれており、今後、修正等を行う可能性があります。

（２）幼児の主体的な活動を促すための屋外環境の在り方（園庭等（半屋外空間を含む））

- ・ 砂場など、子供が思い切って遊びながら学べる場について、衛生面も含めどのように管理すれば良いか、という視点も重要。
- ・ 子供が自発的に遊びを創造できるよう、大人が遊びの材料をすべて提供してしまわないようなバランス感覚が重要【再掲】。



自作のツリーハウスや雨水を利用した井戸、ピロティを利用したアスレチック遊具などが様々な体の動かし方を誘発する仕掛けとなっている。

【あけぼの幼稚園(大阪府豊中市)】



回遊性をもたせた外廊下。階段を介して中庭と連続しており、立体的な回遊性も担保している。また、保育室の隣同士を異年齢とすることにより、外廊下を通じた交流の促進が図られている。

【せんりひじり幼稚園(大阪府豊中市)】



園庭の自然石の高低差や木登り等から、個々の体力や知識に合わせた遊び方を主体的に身につけていくことができる。

【恵庭幼稚園(北海道恵庭市)】

※資料に記載している事項は、現在確認中あるいは調整中の事項が含まれており、今後、修正等を行う可能性があります。



上部階の3mほどのバルコニーが1階幼稚園部分の底となっており、雨天時の活動や保護者の送迎時に有効にいかされている。

【豊海幼稚園(東京都中央区)】

(3) 障害のある幼児など特別な配慮を必要とする幼児に対応した施設の在り方

- ・聴覚過敏への対応は床材や壁材に配慮することが重要であるが、予算上の対応が困難な場合の対処方法についても言及できると良い。
- ・ユニバーサルデザインやインクルーシブデザインは重要であるが、導入すればすべてを解決できるわけではなく、それらを通じて適切な教育が行われることが重要。

(4) 教育活動を支えるための職員スペースの在り方（職員室等）

- ・リラックスしながら、お菓子をつまみながら、ちょっとお話をしたり一息つける、温かいアットホームな雰囲気の中で、お互い支え合っているようなスペースが必要。



職員が集まることのできるキッチンスペース。

【認定こども園さざなみの森(広島県東広島市)】



職員や保護者が集える園内に設けられた多目的スペース。職員の休息やリフレッシュのためのスペース、教職員間の連携強化のための打合せスペースとしても利用されている。

【美晴幼稚園(北海道札幌市)】

(5) 家庭や地域等との連携・協働を促す施設整備の在り方

- ・セキュリティ面での配慮は重要だが、子供が育つ原風景として、地域性や地域とのつながりを大切にすることが設計のコンセプトに入ってくると良い。
- ・災害時の避難場所になる可能性や複合施設としての幼稚園という視点についても言及した方が良い。



園内に設けられたコミュニティカフェスペース。保護者のボランティアで運営し、週1回開店している。また、月1回「はまバル」という老人会も開催。

【はま幼稚園(兵庫県尼崎市)】



コミュニティカフェスペース(左写真)の3階に設けられた親子ひろば。地域の子育て支援の拠点となっている。

【はま幼稚園(兵庫県尼崎市)】



保護者や卒園者が製作した遊具を園庭に配置。地域の方々と一緒に学びや遊びの環境を作っている。

【港北幼稚園(神奈川県都筑区)】

【美晴幼稚園(北海道札幌市)】

(6) 「遊びを引き出す」ための安全性の考え方

- ・「絶対に怪我をしない」ということを前提としてしまうと、遊びを引き出すための環境づくりの実現は困難。
- ・大人が先回りして対策を施すのではなく、子供の自主性を引き出す環境づくりが重要。

※資料に記載している事項は、現在確認中あるいは調整中の事項が含まれており、今後、修正等を行う可能性があります。



豊かな自然環境の中で、遊びを通じ、危険を回避する能力を身に付けていく。小さな怪我をすることも成長につながるという信念のもと、子供たちに様々な遊び場を提供している。

【美晴幼稚園(北海道札幌市)】

(7) 将来の変化に対応する施設整備の在り方

- ・施設整備で完璧を目指すのではなく、将来の変化に対応するため、ある程度の余白を残しながら整備していくことも今後の課題。
- ・現場の自由な発想や要望に対し応えることのできる可変性や可塑性を、施設面としてどのように用意できるか、という視点も重要。



夏場に園庭を掘って作られたプール。秋が来たら埋め戻す。

【恵庭幼稚園(北海道恵庭市)】



馬蹄形に並べられる可動式のイス兼棚は、並べ方を変えたり、積み上げたりすることで多様な空間の使い方を可能にしている。

【恵庭幼稚園(北海道恵庭市)】

※資料に記載している事項は、現在確認中あるいは調整中の事項が含まれており、今後、修正等を行う可能性があります。

第3章 幼稚園施設整備指針（案）
